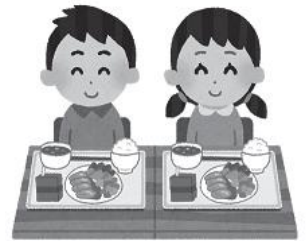




ひのつ みるこ 樋之津 倫子議員

食の安全を求めて



議員 学校給食や病院の食事に関

して安全を保障し、健康や育ちに
寄与することは重要な課題だ。小
麦はカナダ、アメリカからの輸入
に頼っており、防腐剤、防虫剤の
使用が、生態系と人体に大きく影
響すると、特に昨年から指摘され
ている。

①残留農薬の危険性についての認
識②安全性確保の現状について③
国産小麦使用について④地産地消
の現状についてたずねる。

教育長①食品衛生法の残留基準に
基づき安全性を確保していると認
識。②食品衛生法を適用管理指示
している。③給食パンの国産小麦
使用は考えていない。④米は100
%笠岡産、牛乳は100%県内産
で、ほぼ干拓地産を供給。その他、
笠岡産はパプリカ、ミニトマト、

シバエビ、モチムギなどある。

議員 発ガン性や発達障害誘因な
ど指摘される除草剤グリホサート
やネオニコ系防虫剤について、昨
年からEUでは使用禁止、輸入禁
止、アメリカでの発ガン責任を問
う裁判で原告勝利など発生。日本
は逆行し、2017年残留農薬基
準を緩和。(例・小麦5ppmか
ら30ppmへ)今年4月、輸入小
麦使用の給食パンから残留農薬が
検出されたが、国産パンからは不
検出だった。子どもの健康と生活
環境を守るために、使用制限を求
める。

教育長 各関係機関と連携して食
の安全性の確保に努める。農薬は
登録制度があり、使用基準、残留
基準値があるので注視していく。

笠岡の先進的取組みを58議会が視察に来笠



笠岡市議会が受け入れた58議会の行政視察のテーマを見れば、他の自治体から見た笠岡市の魅力がわか
ります。

視察テーマ トップ3

1位 定住促進 (18回)



住みたい田舎ランキング 瀬戸内沿岸第1位!
ぼっけーまち会議、空き家バンク、就労支援などを紹介。

視察受け入れ
58議会
※平成28年
4月～令和
元年12月

2位 議会改革 (運営) (12回)

議会改革は、平成23年制定の議会基本条例に基づ
く政策討論会やタブレット会議システム等の取組みに注目。



3位 観光 (5回)

道の駅笠岡ベイファーム、笠岡諸島、日本遺産などの
魅力をアピール。

